

公益社団法人 日本水産学会
平成 30 年度第 7 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 31 年 2 月 9 日 (土) 13 時 02 分～16 時 58 分 (15 時 20 分～15 時 30 分 休憩)
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス 2 号館 2 階 200A-2 (東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事会総数及び定足数 総数 14 名, 定足数 9 名
- 4 出席理事総数 14 名

(本人出席) 岡崎恵美子 (第 7 号議案議論中 14 時 00 分に退席, 第 10 号議案議論中 14 時 07 分に着席), 家戸敬太郎 (第 4 号議案議論中 13 時 34 分に着席), 金子豊二, 黒倉 寿, 越塩俊介 (第 7 号議案議論中 14 時 00 分に着席), 佐藤秀一, 田中教幸, 東海 正, 萩原篤志, 日向野純也, 安井 肇, 横山芳博, 良永知義, 和田時夫

(監事出席) 北田修一, 杉田治男

(幹事出席) 岩田繁英, 遠藤雅人, 近藤秀裕, 浜崎活幸, 福島英登, 矢澤良輔

(オブザーバー) 小梶 聡 (理事候補者), 馬久地みゆき (理事候補者)

5 議 案

決議事項

- 第 1 号議案 「増員による平成 31 年度役員 (理事) 候補者の決定」の件
- 第 2 号議案 「平成 31 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件
- 第 3 号議案 「会費免除承認」の件
- 第 4 号議案 「会員に関する規則の一部改正」の件
- 第 5 号議案 「大会運営規程の一部改正」の件
- 第 6 号議案 「日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会 (特別委員会) の解散」の件
- 第 7 号議案 「平成 31 年度事業計画」の件
- 第 8 号議案 「寄附金の使途」の件
- 第 9 号議案 「平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込み」の件
- 第 10 号議案 「平成 31 年度予算」の件
- 第 11 号議案 「平成 30 年度日本水産学会論文賞の決定」の件
- 第 12 号議案 「韓国水産科学会との覚書の一部改正」の件
- 第 13 号議案 「水産政策の改革」に関する意見の修正」の件
- 第 14 号議案 「平成 31 年度秋季大会運営委託業者」の件
- 第 15 号議案 「平成 31 年度秋季大会募金目論見書」の件
- 第 16 号議案 「平成 32 年度春季大会の開催日程, 場所, 大会委員長」の件
- 第 17 号議案 「平成 31 年度各種委員会委員長選出」の件
- 第 18 号議案 「平成 31 年度各種委員会委員選出」の件
- 第 19 号議案 「電子書籍シリーズの名称」の件
- 第 20 号議案 「水産学シリーズの中国語翻訳出版」の件
- 第 21 号議案 「平成 30 年度資格喪失者」の件
- 第 22 号議案 「共催, 協賛, 後援の取り扱いの申し合わせ」の件
- 第 23 号議案 「入会承認」の件

報告事項 第 6 回理事会以降の職務執行の状況

その他確認事項

6 議事の経過及びその結果

(1) 定数の確認等

佐藤会長が定足数の充足を確認し, 続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき, 佐藤会長が議長となり, 本会議の成立を宣言し, 議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「増員による平成 31 年度役員 (理事) 候補者の決定」の件 (別紙 1)

金子総務担当理事より, 公益社団法人日本水産学会の増員による平成 31 年度理事候補者 2 名について原案の説明があった。審議の結果, 平成 31 年度社員総会に理事候補として別紙のとおり推薦することを

出席理事全員一致で可決した。

第2号議案 「平成31年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件

金子総務担当理事より、平成30年度定時社員総会の開催日時及び開催場所ならびに目的である事項について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

開催日時：平成31年3月28日(木)13時開始

開催場所：東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区港南)

目的である事項：

- ・平成30年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件
- ・会員に関する規則の一部改正の件
- ・増員による平成31年度役員(理事)選任の件
- ・名誉会員推薦の件

第3号議案 「会費免除承認」の件

金子総務担当理事より、会員に関する規則第5条第2項に基づき2名の会員の会費免除について原案の説明があった。本議案について、以下の質疑応答があった。

東海理事「両者の会費免除は次年度限りか。」

金子理事「1名については被災を理由としているため1年、もう1名は第1項に準ずる形で認めるため次年度以降も適用するという認識である。」

審議の結果、小島大輔会員は平成31年度の会費のみ、廖一久会員は平成31年度以降の会費を免除することを出席理事全員一致で可決した。

第4号議案 「会員に関する規則の一部改正」の件(別紙2)

金子総務担当理事より、会員に関する規則の一部改正について原案の説明があり、萩原財務担当理事から原案に関する補足説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

黒倉理事「正会員と外国会員で分かれているのはどのような理由か。外国会員という枠組みを廃止することも検討する必要があるのではないか。」

金子理事「外国会員は海外に住んでいる会員のことを意味している。外国会員は日水誌を郵送する必要がなくなったため郵送費分を減額している。」

東海理事「外国会員という枠組みを廃止するには、定款の変更が必要になる。外国会員は正会員とは異なり総会において社員としての議決権がない。」

岡崎理事「2011年からの学生会員の減少の理由は何かあるか。学会費が減少の一因になっているのではないか。」

黒倉理事「東日本大震災の影響も考えられる。会員減少に対する対策は別途検討する必要がある。」

佐藤会長「学生会員減少の理由については別途分析をする必要はある。今回は学会費を下げる対応をとった。」

東海理事「財務検討委員会では学会費を値下げ決定後に、大会の参加費減額について随時検討するという方向である。」

金子理事「大会の参加費については実行委員会で決定できる。理事会としては大会の黒字分が学会の重要な収入源であることも事実ではあるためその部分も含めて今後検討していく必要がある。とりあえず今回は学会費の値下げをして様子を見る。財務検討委員会での検討を継続する。」

黒倉理事「今後会員サービスの向上のための議論を実施していく必要がある。」

萩原理事「財務的には、近年大会の剰余金が戻ってくることが多い。その意味では参加費を下げてよいのではないかと感じる。」

東海理事「いくつかの対応策について今後も継続的に検討する。」

第5号議案 「大会運営規程の一部改正」の件(別紙3)

金子総務担当理事より、大会運営規程を一部改正について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

第6号議案 「日本水産学会創立85周年記念事業委員会(特別委員会)の解散」の件

金子総務担当理事より、日本水産学会創立85周年記念事業委員会(特別委員会)の解散について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で日本水産学会創立85周年記念事業委員会(特別委員会)の解散を可決した。

第7号議案 「平成31年度事業計画」の件(別紙4)

金子総務担当理事より、平成31年度事業計画について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案を一部修正のうえ可決した。

第8号議案 「寄附金の使途」の件

東海財務担当理事より、寄付金の使途について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第9号議案 「平成31年度資金調達及び設備投資の見込み」の件(別紙5)

金子総務担当理事より、平成31年度資金調達及び設備投資の見込みについて原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第10号議案 「平成31年度予算」の件(別紙6)

萩原財務担当理事より、平成31年度予算について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

北田監事「全体的に予算規模を縮小した印象ではあるがこれは見かけ上収支が減っただけで実質的には大きくは変化していないと理解してよいのか。」

東海理事「その通りである。」

第11号議案 「平成30年度日本水産学会論文賞の決定」の件(別紙7)

東海編集担当理事より、平成30年度日本水産学会論文賞について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。また、授賞理由について一部修正することを出席理事全員一致で可決した。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

東海理事「受賞した論文について、総会資料等への掲載時の並べ方は評価が高い順番か掲載順にするのか。」

佐藤会長「掲載順にする。」

第12号議案 「韓国水産科学会との覚書の一部改正」の件

萩原国際交流担当理事より、韓国水産科学会との覚書の一部改正について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案を一部修正のうえ可決した。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

田中理事「日本語版の修正に伴い英語版も修正するのか。」

佐藤会長「修正する。」

第13号議案 「「水産政策の改革」に関する意見の修正」の件

黒倉水産政策担当理事より、「水産政策の改革」に関する意見の修正について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第14号議案 「平成31年度秋季大会運営委託業者」の件

横山担当理事より、平成31年秋季大会運営委託業者について原案の説明があった。審議の結果、トーヨー企画(株)に平成31年度秋季大会の運営を委託することを出席理事全員一致で可決した。

第15号議案 「平成31年度秋季大会募金目論見書」の件

横山担当理事より、平成31年度秋季大会募金目論見書について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

日向野理事：年次大会において協賛金や広告の単価を変更しても問題ないか。

金子理事：大会実行委員会で決定して問題はない。

第16号議案 「平成32年度春季大会の開催日程、場所、大会委員長」の件

金子総務担当理事より、平成32年度春季大会の開催日程、場所、大会委員長について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

開催日程：2020年3月26日(木)～30日(月)

開催場所：東京海洋大学品川キャンパス

大会委員長：金子豊二(東大院農)

第17号議案 「平成31年度各種委員会委員長選出」の件

金子総務担当理事より、平成31年度各種委員会委員長のうち理事会で選出する委員長について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

編集委員会 舞田正志

企画広報委員会 山川 卓

水産教育推進委員会 荒川久幸
水産政策委員会 片山知史
平成 30 年度に引き続き平成 31 年度も委員長を務める者
シンポジウム企画委員会 古丸 明
国際交流委員会 萩原篤志

第 18 号議案 「平成 31 年度各種委員会委員選出」の件

金子総務担当理事より、平成 31 年度各種委員会委員選出について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案を可決した。

第 19 号議案 「電子書籍シリーズの名称」の件

越塩出版担当理事から、電子書籍シリーズの名称について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

e-水産学シリーズ（英語表記 e-SUISAN series）

第 20 号議案 「水産学シリーズの中国語翻訳出版」の件

越塩出版担当理事より 水産学シリーズの中国語翻訳出版について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案を可決した。なお、現在、本件のほかに 3 件の水産学シリーズについて中国語翻訳の依頼がきているとの報告があり、依頼書が届き次第、理事会において改めて審議することとした。

第 21 号議案 「平成 30 年度資格喪失者」の件

金子総務担当理事より、平成 30 年度資格喪失者の案として対象者となる会員の氏名リストが示され、2 月末までに滞納会費が支払われることでリストから名前が除かれるという説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 22 号議案 「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」の件

金子総務担当理事より、定期的に共催、協賛および後援の取り扱いの申し合わせについて説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 23 号議案 「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

（報告事項）

第 6 回理事会以降の職務執行の状況

・会長

佐藤会長より、次の報告があった。

- 1) 水産学若手の会委員会について、委員長が竹内裕会員に代わり、第 1 回会議を春季大会中の 3 月 27 日に開催し、同日 18:00-20:00 までナイトポスターセッションを実施する。秋季大会中にシンポジウムを実施する。
- 2) 水産・海洋科学研究連絡協議会から高校生に対するアンケートについて協力依頼があった。案内を後日周知する。
- 3) 第 37 回「海とさかな」自由研究コンクールの表彰式が 12 月 8 日に実施され、研究部門の「SOS！ごみから海を救え！」及び創作部門の「私はメダカのお母さん」に日本水産学会会長賞を授与した。

・庶務関係

金子担当理事より、次の報告があった。

- 1) 次の資格喪失者（会費未納）について滞納会費納入により退会に変更した。
河内正行（正会員、平成 24 年度資格喪失）
- 2) 本学会は学会名とロゴを商標登録しており、このうち学会名の登録を 2019 年 6 月 5 日までに更新する必要がある。
- 3) 日本農学会シンポジウム「SDGs を超える農学のブレークスルー」の講演者として、佐藤会長にタイトル「水産養殖の現状と養魚飼料の今後」で発表をしてもらうことにした。また、2 月 9 日に日本農学会大会が開催されており日本農学会賞の選考も実施される。
- 4) 下記の後援依頼について共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ 3) を適用した。

食品ハイドロコロイドセミナー 2019

主 催 食品ハイドロコロイド研究会

協 賛 化学工学会 他 23 学協会

日 時 平成 31 年 5 月 23 日
場 所 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館大会議室（東京都港区）
希 望 協賛
負担金 なし
第 30 回食品ハイドロコロイドシンポジウム
主 催 食品ハイドロコロイド研究会
協 賛 化学工学会 他 23 学協会
日 時 平成 31 年 5 月 24 日
場 所 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館大会議室
希 望 協賛
負担金 なし

5) 水産・海洋科学研究連絡協議会から協力依頼のあった高校生に対するアンケートについて今後対応する。

・企画広報関係

金子担当理事より、平成 31 年 1 月 8 日に第 7 回委員会を開催し、日本水産学会誌の記事の検討、平成 31 年度の事業計画の確認をしたと報告があった。また、ホームページリニューアルの作業を進めていると報告があった。

・財務関係

萩原担当理事よりゆうちょ銀行の口座自動引落しサービスの有料化と消費税の増税に伴い平成 31 年度の支出が増える可能性があるとの報告があった。

・編集関係

東海担当理事より、1 月 30 日に開催された第 4 回委員会で、平成 30 年度論文賞受賞候補論文の選考、倫理規定の追加と Aims and scope の改訂のほか、Fisheries Science 誌への書評記事掲載は企画広報委員会で検討してもらうこと、プレプリント論文の投稿は受け付けないこと、Fisheries Science 誌の和文要旨は体裁を変更して継続すること、掲載料の値下げにうちの議論が報告された。また、掲載料に関する理事会としての意見が欲しいとの報告があった。なお、この報告に対して次の質疑があった。

北田監事「Springer との新規契約の内容から掲載料は削減の方向と思ったが現状で徴収しているのはなぜか。」

良永理事「Springer との新規契約は Springer からの Royalty 収入と Springer へ支払う支出はほぼ同じである。掲載料として投稿者から支払われる予算は日本水産学会誌の発行に係る経費に充当していた。今回の日本水産学会誌の電子化によって日本水産学会誌の発行に係る予算が減るためその余剰分で学会費削減ができるようになった。更に、その余剰分は Fisheries Science 誌の黒字分であるので、Fisheries Science 誌のページチャージの削減に使う方向で検討している。」

北田監事「Fisheries Science の新しい Aims and scope 案では、日本水産学会の official journal であるとの文章が削除されているが official journal ではなくなるという理解でよいか。」

東海理事「別の場所に記載されている。official journal であることはわかるような文面になっているという認識である。」

良永理事「他の学会等では membership journal であるかどうかにかまかきをおいている。特に問題はないのではないか。」

黒倉理事「方向性は問題ないのでよいのではないか。」

・学会賞関係

萩原担当理事より、2 月 9 日に平成 31 年度日本農学賞選考会がおこなわれていると報告があった。

・シンポジウム関係

横山担当理事より、平成 31 年 3 月 29 日に委員会を開催すること、平成 31 年度春季大会のシンポジウムについてはメールにて審議中であること、平成 31 年秋季大会のシンポジウムについては若手の会シンポジウムの 1 件だけ連絡がきた状態であることの報告があった。

・出版関係

越塩担当理事より、平成 31 年 1 月 9 日に委員会が開催され、韓国語翻訳出版について、恒星社厚生閣と協力して理事会からコメントされた点の対応、e-水産学シリーズ（英語表記 e-SUISAN series）についての審査方法、体裁の詳細について議論、水産学シリーズの中国語翻訳について検討していると報告

があった。ベルソープックスの出版が取りやめになった時にベルソープックス担当委員をどうするのかについて、理事会としての意見を求められたとの報告があった。なお、この報告に関して、次の質疑があった。

越塩理事「水産政策改革についてシンポジウム等を実施するかどうか、出版をする予定か どうか出版委員会から質問があった。」

黒倉理事「平成 30 年春季大会でシンポジウムを実施する予定であり、出版は未定である。」

・水産技術誌監修関係

日向野担当理事より、平成 31 年 1 月 21 日に開催された第 1 回委員会で、水産技術誌編集に関してアウトソーシングに関する議論、投稿論文の改訂、平成 31 年度水産技術誌監修委員の選出について検討したと報告があった。

・国際交流関係

和田担当理事 特になし

・水産教育関係

良永担当理事より、JABEE の対応をしている農学会の水産教育推進委員会の委員として、水産教育委員会の委員長が 2 年間参加してもらうことになったと報告があった。なお、この報告に対して次の質疑があった。

萩原理事「水産教育推進委員会は学務として参加されている委員がいるが、その学務の任期が切れた場合、旅費は学会から支給されるのか。」

良永理事「現状では大会の時に合わせて会議を開催するために学会から旅費はだしていない。」

・水産政策関係

黒倉担当理事より、平成 30 年 12 月に水産政策改革に対する意見をまとめたこと、3 月に一度シンポジウムを開催予定であること、次期委員長が片山会員になることの報告があった。

・漁業・資源管理関係

東海担当理事 特になし

・水産利用関係

岡崎担当理事より、平成 31 年 1 月 9 日に日本大学藤沢キャンパスにて第 3 回水産利用懇話会委員会を開催したこと、同日 15 時から 17 時まで平成 30 年度第 2 回水産利用懇話会講演会「築地市場移転の現状」を開催したこと、平成 31 年 3 月 28 日に第 1 回委員会を実施予定であることの報告があった。

・水産増殖関係

家戸担当理事より、事業計画のとおり年度内に 2 回委員会を開催するとの報告があった。

・水圏環境関係

萩原担当理事より、平成 31 年度から樽谷会員が委員長に就任するとの報告があった。また、平成 31 年度春季大会中の 3 月 26 日に「東日本大震災復興事業による沿岸域の改変が沿岸生態系に何をもたらすか」という題目で水産環境保全委員会シンポジウムを開催するとの報告があった。

・男女共同参画関係

岡崎担当理事より、アンケートの解析結果を平成 31 年度春季大会中に配布できるように作業を進めているとの報告があった。また、平成 31 年度春季大会中に委員会とランチョンセミナーを開催するとの報告があった。

・社会連携関係

安井担当理事より、社会連携に関する報告書を取りまとめ中であるとの報告があった。

・将来計画関係

和田担当理事より、今後の会員獲得に関する論点のたたき台について検討中であるとの報告があった。

・北海道支部、地域連携関係

安井担当理事より、2019 年 11 月 2・3 日に道民活動センター（かでる 2.7）で支部大会、支部幹事会、支部総会を開催するとの報告があった。また、2020 年度の秋季大会について、函館で開催する予定であるとの報告があった。

・東北支部、地域連携関係

田中担当理事より、平成 31 年 2 月 8 日に支部総会、支部幹事会、支部例会を開催し、支部会では優秀章の表彰、事業報告、次年度の事業計画の報告をしたとの報告があった。次期支部長選出のための選挙を実施中であるとの報告があった。

- ・関東支部，地域連携関係
舞田担当理事 特になし
 - ・中部支部，地域連携関係
横山担当理事より，平成 30 年 12 月 15 日に新潟コープシティ花園で中部支部大会を開催し，ポスター発表，ミニシンポジウム「地方から考える「漁業の成長産業化」」，優秀賞の表彰，支部幹事会，支部総会等を実施したとの報告があった。また，福井県立大学で行われる平成 31 年度秋季大会を準備中で秋季大会中に支部会を実施予定であるとの報告があった。
 - ・近畿支部，地域連携関係
家戸担当理事より，平成 30 年 12 月 8 日に琵琶湖博物館大ホールで近畿支部後期例会を開催し，その中で幹事会，特別講演「先達の知恵と経験を若手・中堅水産研究者と技術者へ-淀川・琵琶湖水系の魚類資源を考える-」，一般研究発表，高校生によるポスター発表，優秀ポスターの表彰をおこなったとの報告があった。次年度は日本水産増殖学会と併せて支部会を開催することを報告した。
 - ・中国・四国支部，地域連携関係
日向野担当理事より，平成 30 年 12 月 21 日に広島市市民交流プラザで第 19 回広島湾研究集会「かきを育む海，かきが育む海」を水産海洋学会等と共催し，参加者が 71 名であったとの報告があった。
 - ・九州支部，地域連携関係
越塩担当理事より，平成 30 年 12 月 8 日に支部大会，総会，高校生発表を，平成 30 年 12 月 9 日にシンポジウムを鹿児島大学水産学部で開催したとの報告があった。
 - ・英文書籍監修委員会（特別委員会）
佐藤会長 特になし
 - ・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）
黒倉担当理事より，10 年を目的にして活動の軌跡をまとめて委員会としての区切りにすることが提案され議論している，との報告があった。
 - ・日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会（特別委員会）
和田担当理事より，すべての作業が終了したため理事会承認を経て委員会を解散したとの報告があった。
 - ・財務検討委員会（特別委員会）
萩原担当理事より，2019 年 2 月 9 日午前中に委員会を開催し，平成 31 年の予算案の承認，会費を減額する案の議論，ページチャージに関する議論をおこなったとの報告があった。
- その他確認事項
- (1) 学会賞受賞者講演の座長と会場係について
金子総務担当理事から学会賞受賞者講演の座長と会場係について紹介があり，各所に理事および幹事が配置された。
 - (2) 次回の理事会について
佐藤会長から次回理事会は平成 31 年 3 月 9 日に 13 時より東京海洋大学品川キャンパスで開催するとの説明があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので，16 時 58 分，議長は閉会を宣言し，解散した。

以上，この議事録が正確であることを証するため，出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

平成 31 年 2 月 9 日
公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事